

2011年度 日本文化人類学会

第8回 理事会 議事録

日時：2012年2月11日(土) 14:00~16:40

会場：東京外国語大学 本郷サテライト 7階会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、岡田、栗田、栗本、佐々木、関根、高倉、棚橋、中川、中谷、三尾、渡辺(公)

委任状提出：小田、鏡味、葛野、桑山、清水、玉置、名和、森山

〔承認事項〕

1. 2011年度第7回理事会議事録に修正箇所があるため、第9回理事会において改めて承認を受けることとした。

〔報告事項〕

1. 会長報告

- ・小泉潤二 IUAES 事務局長に対し、本学会員の IUAES 世界会議等への参加費の割引を要請、これに対し、小泉 IUAES 事務局長から、本学会員が IUAES の個人会員でもある場合には割引を検討するとの回答があったことを報告。
- ・朝日賞の選考結果が発表され、本学会推薦の候補者は採択されなかったことを報告。
- ・高齢会員および若手会員問題に関する資料を文言調整の上次期理事会に申し送る予定であることを報告。

2. 庶務理事報告

- ・第25回評議員選挙について、選挙者名簿確定と投票用紙発送作業を行ったことを報告。投票用紙を発送した後、北海道・東北地区宛の封筒2通がラベルが剥がれた状態で「宛先不明」により返送されてきたため、北海道・東北地区の会員全員に対し、投票用紙未着の場合には学会事務局へ連絡するよう依頼したことを報告。
- ・日本学術会議より依頼のあった「男女共同参画分科会アンケート調査」に対し回答を行ったことを報告。
- ・第46回研究大会の1日目に理事会・評議員会を、2日目に総会・学会賞授賞式を開催する予定であることを報告。
- ・JREC-INより依頼のあったキャリアパスに関するアンケートについて、担当理事に確認の上、綾部理事が回答する予定であることを報告。

3. 会計理事報告

- ・IUAESの2011年度会費について、IUAES指定の口座へ送金を行ったことを報告。
- ・各種委員会担当理事に対し、2011年度予算の執行について学会事務局へ連絡するよう要請があった。

4. 広報理事報告

- ・オンラインストレージサービスの契約手続きが完了し、利用を開始したことを報告。災害時に備え、オンラインストレージにアクセスできる理事を各地区に1人おいてはどうかとの提案があり、次期理事会に申し送ることとした。
- ・緊急時用の学会メールアドレスとパスワードを出席理事に周知。
- ・学会ホームページを学会サーバ上でのみ運用することを「情報化委員会からのお知らせ」としてJASCA-INFOで配信したことを報告。
- ・「IUAES世界会議2013の分科会・論文発表申込締切の延長について」をJASCA-INFOで配信したことを報告。
- ・課題研究懇談会の選考にあたった委員名について、任期終了後に学会ホームページ及び『文化人類学』の学会通信において公表することとした。

5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：寄稿規定・執筆細則の改定を次回理事会で予定していることを報告。
- ・JRCA編集委員会：Vol.12の進捗状況を報告。
- ・課題研究懇談会：採用された課題研究懇談会の各代表者に採用通知書を送付したことを報告。必要な

手続きや書類等については、次回理事会で報告することとした。

- ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
6. 第46回研究大会について
- ・研究大会の要旨集を登録している J-STAGE のシステム上の都合により、プログラム確定の時期が例年より早まるため、新理事・新評議員の理事会・評議員会への出席が困難となる場合もありうることを報告。

〔審議事項〕

1. 澁澤賞審査委員の候補者推薦について
 - ・渡邊会長より、澁澤賞選考委員について、委員長及び新たな委員 3 名について総務会案が示され、承認された。
2. 地区研究懇談会の規程整備について
 - ・欠席の森山理事に代わり、綾部理事より、地区研究懇談会の規定（案）について説明があり、意見交換の結果、一部文言を追加することとし、次回理事会で再度審議することとした。
3. 2012 年度公開シンポジウムの共催について
 - ・高倉理事より、2012 年度公開シンポジウムを東北大学との共催としたいとの提案があり、関係諸機関の確認を取った上で、次回理事会で再度審議することとした。
4. その他
 - ・綾部理事より、2012 年 2 月 25・26 日に開催される国立民族学博物館機関研究「包摂と自律の人類学」領域プロジェクト「ケアとはくみの人類学」国際シンポジウム「エイジング - 多彩な文化を生きる」、2012 年 3 月 24・25 日に開催される同プロジェクト「支援の人類学」国際シンポジウム「グローバルな倫理的消費：フェアトレードの新展開」の後援依頼があったことが報告され、審議の結果、連携事業の一環として共催すること、学会ロゴマークの使用を許可することが承認された。
 - ・各種委員会担当理事に対し、次期理事会への申し送り事項をまとめておくよう要請があった。
 - ・2011 年度事業報告・2012 年度事業計画（案）を後日メールで配信するので、各理事は担当部分について確認するよう要請があった。

以上